

内航海運 内航海運の活動

1 輸送機関別国内貨物輸送量及び輸送分担率

輸送機関別国内貨物輸送量に占める内航海運のシェアは、輸送量(貨物重量)では8%であるが、輸送活動量(貨物重量×輸送距離)では40%に及んでいる。内航海運は長距離・大量輸送に適した輸送機関であり、2021年度の平均輸送距離で見ると498kmで、自動車の約9倍である。

出典：国土交通省海事局

年度	輸送量(万トン)					輸送活動量(百万トンキロ)					平均輸送距離(km)			
	内航	自動車	鉄道	航空	計	内航	自動車	鉄道	航空	計	内航	自動車	鉄道	航空
1965	17,965 (6.87)	219,320 (83.83)	24,352 (9.31)	3 (0.00)	261,640 (100)	80,635 (43.42)	48,392 (26.06)	56,678 (30.52)	21 (0.01)	185,726 (100)	449	22	233	700
1970	37,665 (7.17)	462,607 (88.06)	25,036 (4.77)	12 (0.00)	525,319 (100)	151,243 (43.18)	135,916 (38.80)	63,031 (18.00)	74 (0.02)	350,264 (100)	402	29	252	617
1975	45,205 (8.99)	439,286 (87.41)	18,062 (3.59)	19 (0.00)	502,572 (100)	183,579 (50.92)	129,701 (35.98)	47,058 (13.05)	152 (0.04)	360,490 (100)	406	30	261	800
1980	50,026 (8.36)	531,795 (88.91)	16,283 (2.72)	33 (0.01)	598,136 (100)	222,173 (50.63)	178,901 (40.77)	37,428 (8.53)	290 (0.07)	438,792 (100)	444	34	230	879
1985	45,239 (8.08)	504,805 (90.19)	9,629 (1.72)	54 (0.01)	559,726 (100)	205,818 (47.41)	205,941 (47.43)	21,919 (5.05)	482 (0.11)	434,160 (100)	455	41	228	893
1990	57,520 (8.65)	598,479 (90.03)	8,662 (1.30)	87 (0.01)	664,748 (100)	244,546 (44.86)	272,579 (50.00)	27,196 (4.99)	799 (0.15)	545,120 (100)	425	46	314	918
1995	54,854 (8.43)	587,720 (90.37)	7,693 (1.18)	96 (0.01)	650,363 (100)	238,330 (42.76)	293,001 (52.57)	25,101 (4.50)	924 (0.17)	557,356 (100)	434	50	326	963
2000	53,702 (8.60)	564,609 (90.43)	5,927 (0.95)	110 (0.02)	624,348 (100)	241,671 (41.92)	311,559 (54.05)	22,136 (3.84)	1075 (0.19)	576,441 (100)	450	55	373	977
2005	42,615 (8.01)	484,223 (90.99)	5,247 (0.99)	108 (0.02)	532,193 (100)	211,576 (37.18)	333,524 (58.62)	22,813 (4.01)	1,075 (0.19)	568,988 (100)	496	69	435	995
2010	36,673 (7.41)	453,810 (91.69)	4,365 (0.88)	100 (0.02)	494,948 (100)	179,898 (40.20)	246,175 (55.01)	20,398 (4.56)	1,032 (0.23)	447,503 (100)	491	54	467	1,032
2015	36,549 (7.78)	428,900 (91.28)	4,321 (0.92)	101 (0.02)	469,871 (100)	180,381 (44.29)	204,316 (50.17)	21,519 (5.28)	1,056 (0.26)	407,272 (100)	494	48	498	1,046
2016	36,449 (7.61)	437,827 (91.45)	4,409 (0.92)	100 (0.02)	478,785 (100)	180,438 (43.68)	210,316 (50.91)	21,265 (5.15)	1,057 (0.26)	413,076 (100)	495	48	482	1,057
2017	36,013 (7.52)	438,125 (91.51)	4,517 (0.94)	100 (0.02)	478,755 (100)	180,934 (43.65)	210,829 (50.86)	21,663 (5.23)	1,066 (0.26)	414,492 (100)	502	48	480	1,066
2018	35,445 (7.50)	432,978 (91.59)	4,232 (0.90)	92 (0.02)	472,747 (100)	179,089 (43.69)	210,467 (51.35)	19,369 (4.73)	977 (0.24)	409,902 (100)	505	49	458	1,062
2019	34,145 (7.24)	432,913 (91.83)	4,266 (0.90)	87 (0.02)	471,411 (100)	169,680 (41.95)	213,836 (52.87)	19,993 (4.94)	925 (0.23)	404,434 (100)	497	49	469	1,063
2020	30,608 (7.41)	378,700 (91.64)	3,912 (0.95)	49 (0.01)	413,269 (100)	153,824 (39.84)	213,419 (55.27)	18,340 (4.75)	528 (0.14)	386,111 (100)	503	56	469	1,078
2021	32,466 (7.64)	388,800 (91.44)	3,891 (0.92)	56 (0.01)	425,213 (100)	161,795 (39.99)	224,095 (55.39)	18,042 (4.46)	610 (0.15)	404,542 (100)	498	58	464	1,089

(注) ①()は、輸送機関別のシェア(%)である。②航空には超過手荷物、郵便物を含む。③自動車は1990年度より軽自動車を含む数字である(2010年度から自家用貨物軽自動車の数字は除く)。2010年度から調査・統計方法を変更。東日本大震災の影響により、北海道運輸局及び東北運輸局の2011年3月及び4月の数値は含まれない。
④単位未満の端数については四捨五入したため、合計と内計が一致しない場合がある。

2 主要品目別内航貨物輸送量

内航海運が輸送する貨物は、石炭、鉄鋼、セメントなど産業の基礎となる物資が大半を占める。この10年間では石炭以外の輸送量は減少していたが、2019年以降石灰石の輸送量はやや増加傾向。

出典：国土交通省「内航船舶輸送統計年報」

品目	輸送トン数(千トン)			輸送トンキロ(百万トンキロ)			平均輸送距離(km)	
	2011年度	2021年度	21/11(%)	2011年度	2021年度	21/11(%)	2011年度	2021年度
石炭	12,486 (3.5)	14,479 (4.5)	116.0	2,880 (1.6)	1,759 (1.1)	61.1	231	121
鉄鋼	41,703 (11.6)	36,079 (11.1)	86.5	20,841 (11.9)	17,596 (10.9)	84.4	500	488
石灰石	33,030 (9.2)	35,844 (11.0)	108.5	13,183 (7.5)	14,075 (8.7)	106.8	399	393
砂利・砂・石材	18,877 (5.2)	16,004 (4.9)	84.8	4,925 (2.8)	5,145 (3.2)	104.5	261	321
セメント	33,760 (9.4)	30,282 (9.3)	89.7	17,532 (10.0)	16,093 (9.9)	91.8	519	531
石油製品	90,725 (25.1)	76,243 (23.5)	84.0	40,166 (23.0)	37,753 (23.3)	94.0	443	495
その他	130,402 (36.1)	115,728 (35.6)	88.7	75,373 (43.1)	69,374 (42.9)	92.0	578	599
合計	360,983 (100.0)	324,659 (100.0)	89.9	174,900 (100.0)	161,795 (100.0)	92.5	485	498

(注) ①()内は各品目別シェア(%)である。②単位未満の端数については、四捨五入したため、合計と内計とは一致しない場合がある。

3 船種別内航船腹量

内航船舶は5,213隻、465万1,716総トン。船種別では「貨物船」が一番多く、隻数比65.9%、総トン数比54%を占めている。

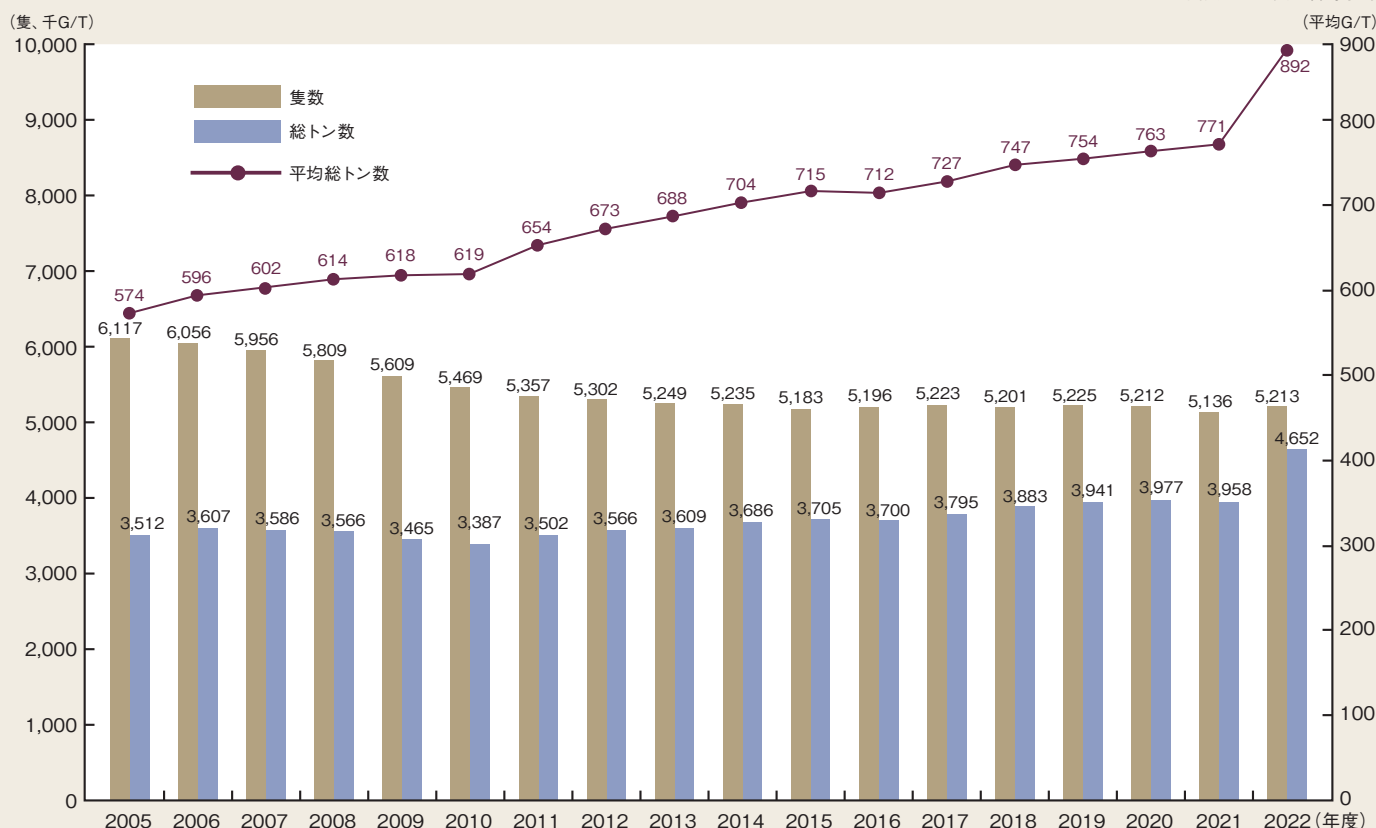
出典：国土交通省海事局

船種	質	2019年3月末		2020年3月末		2021年3月末		2022年3月末		2023年3月末	
		隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
貨物船	木船	540	6,817	541	6,798	553	6,830	539	6,762	293	3,269
	鋼船	2,960	2,089,414	2,985	2,138,867	2,969	2,162,085	2,926	2,153,983	3,144	2,507,911
	計	3,500	2,096,231	3,526	2,145,665	3,522	2,168,915	3,465	2,160,745	3,437	2,511,180
土・砂利・石材専用船	木船	2	39	2	39	2	39	2	39	2	39.12
	鋼船	331	213,810	323	211,394	310	204,691	291	194,791	360	350,781
	計	333	213,849	325	211,433	312	204,730	293	194,830	362	350,820
セメント専用船	木船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	鋼船	135	386,967	134	388,963	135	402,412	131	389,173	132	388,878
	計	135	386,967	134	388,963	135	402,412	131	389,173	132	388,878
自動車専用船	木船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	鋼船	12	49,569	11	45,130	10	40,137	9	37,227	11	40,239
	計	12	49,569	11	45,130	10	40,137	9	37,227	11	40,239
油送船	木船	5	52	5	52	5	52	5	52	5	52.06
	鋼船	929	938,178	936	950,520	933	954,181	929	959,082	964	1,145,842
	計	934	938,230	941	950,572	938	954,233	938	959,134	969	1,145,894
特殊タンク船	木船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	鋼船	287	198,069	288	199,435	295	206,987	304	216,598	302	214,705
	計	287	198,069	288	199,435	295	206,987	304	216,598	302	214,705
合計	木船	547	6,908	548	6,889	560	6,921	546	6,853	300	3,360
	鋼船	4,654	3,876,007	4,677	3,934,309	4,652	3,970,493	4,590	3,950,854	4,913	4,648,356
	計	5,201	3,882,915	5,225	3,941,198	5,212	3,977,414	5,136	3,957,707	5,213	4,651,716

4 内航船の隻数と船舶の大型化

隻数はここ数年5,200隻前後で推移しているが年々大型化が進んでおり、内航船舶全体の平均総トン数は前年度に比べ15%増となっている。

出典：国土交通省海事局



5 船型別状況

隻数比で100総トン以上の中に占める499総トン以下は62%、1,000総トン以上は18.2%を占める。
また船型の大型化が年々進み内航船舶全体の平均総トン数は10年前に比べ32.7%の大型化がみられる。

出典：国土交通省海事局

船型	2013年3月31日				2023年3月31日											
	隻数 (構成比%)		総トン数 (構成比%)		油送船(注)				貨物船(注)				合計			
	隻数	構成比%	総トン数	構成比%	隻数 (構成比%)	総トン数 (構成比%)	隻数 (構成比%)	総トン数 (構成比%)	隻数 (構成比%)	総トン数 (構成比%)	隻数 (構成比%)	総トン数 (構成比%)				
～19G/T	1,418	33.6	20,104	1.3	105	8.3	1,773	0.1	1,069	27.1	15,826	0.5	1,174	22.5	17,599	0.4
20～99G/T	364		25,572		137	10.8	10,733	0.8	155	3.9	10,372	0.3	292	5.6	21,105	0.5
100G/T～199G/T	927	17.5	161,788	4.5	196	15.4	32,693	2.4	441	11.2	75,308	2.3	637	12.2	108,001	2.3
200G/T～299G/T	275	5.2	70,482	2.0	42	3.3	11,110	0.8	339	8.6	88,656	2.7	381	7.3	99,766	2.1
300G/T～399G/T	195	3.7	68,379	1.9	74	5.8	25,776	1.9	146	3.7	50,388	1.5	220	4.2	76,164	1.6
400G/T～499G/T	1,043	19.7	509,811	14.3	248	19.5	122,018	9.0	838	21.3	410,646	12.5	1,086	20.8	532,664	11.5
500G/T～699G/T	205	3.9	132,436	3.7	43	3.4	25,553	1.9	169	4.3	103,290	3.1	212	4.1	128,842	2.8
700G/T～999G/T	362	6.8	295,420	8.3	234	18.4	196,163	14.4	294	7.5	234,426	7.1	528	10.1	430,588	9.3
1,000G/T～1,999G/T	143	2.7	210,842	5.9	32	2.5	49,275	3.6	171	4.3	246,124	7.5	203	3.9	295,399	6.4
2,000G/T～2,999G/T	72	1.4	192,789	5.4	21	1.7	55,320	4.1	66	1.7	165,557	5.0	87	1.7	220,877	4.7
3,000G/T～4,499G/T	157	3.0	578,236	16.2	127	10.0	470,842	34.6	80	2.0	298,818	9.1	207	4.0	769,660	16.5
4,500G/T～6,499G/T	58	1.1	298,073	8.4	4	0.3	18,107	1.3	59	1.5	311,383	9.5	63	1.2	329,490	7.1
6,500G/T～	83	1.6	1,002,415	28.1	8	0.6	341,236	25.1	115	2.9	1,280,325	38.9	123	2.4	1,621,561	34.9
合計	5,302	100.0	3,566,347	100.0	1,271	100.0	1,360,599	100.0	3,942	100.0	3,291,117	100.0	5,213	100.0	4,651,716	100.0
うち100G/T以上	3,520	66.4	3,520,671	98.7	1,029	81.0	1,348,093	99.1	2,718	68.9	3,264,919	99.2	3,747	71.9	4,613,012	99.2
平均G/T	673				1,070				835				892			

(注) ①内外航併用船及び港運併用船を含み、通関前の塩の二次輸送船、原油の二次輸送船及び沖縄復帰にかかわる石油製品用許認可船を含まない。 ②20総トン未満の営業船を含む。
③ここでは油送船に油送船、特殊タンク船の数値の合計を、貨物船にセメント専用船、自動車専用船、土・砂利・石材専用船、その他貨物船の数値の合計を計上している。
④単位未満の端数については四捨五入したため、合計と内計が一致しない場合がある。

6 船齢別状況

内航船舶を船齢別にみると7年未満が隻数比14.9%、総トン数比23.2%となっている。14年以上の老齢船は隻数比68.8%、総トン数比50.9%。

出典：国土交通省海事局

船齢	隻数(構成比%)						総トン数								
	油送船(注)		貨物船(注)		合計		油送船(注)			貨物船(注)			合計		
	隻数	構成比(%)	隻数	構成比(%)	隻数	構成比(%)	総トン数(千トン)	平均トン数	構成比(%)	総トン数(千トン)	平均トン数	構成比(%)	総トン数(千トン)	平均トン数	構成比(%)
新造船	24	1.9	57	1.4	81	1.6	18	750	1.3	104	1,825	3.2	122	1,506	2.6
1～7	242	19.0	454	11.5	696	13.4	237	979	17.5	720	1,586	21.9	957	1,375	20.6
7～14	260	20.5	588	14.9	848	16.3	538	2,069	39.6	667	1,134	20.3	1,205	1,421	25.9
14～	745	58.6	2,843	72.1	3,588	68.8	565	758	41.6	1,798	632	54.7	2,363	659	50.9
合計	1,271	100.0	3,942	100.0	5,213	100.0	1,358	1,068	100.0	3,289	834	100.0	4,647	891	100.0

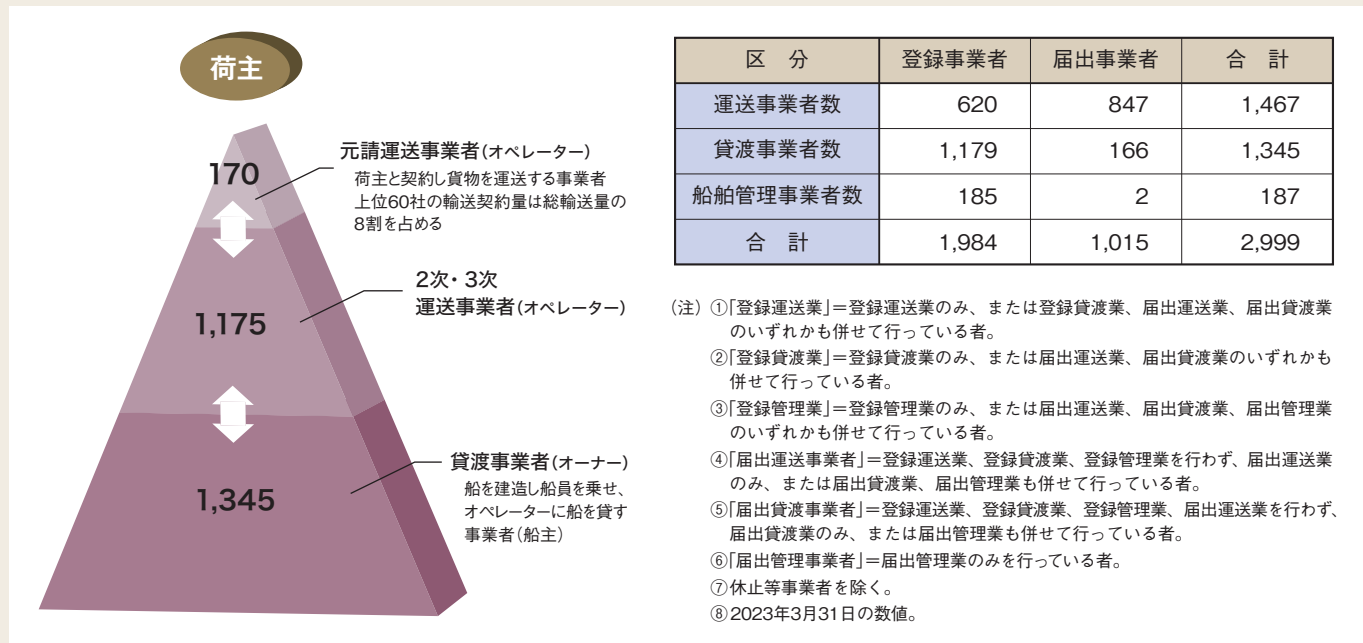
(注) ①内外航併用船及び港運併用船を含み、塩の二次輸送船、原油の二次輸送船及び沖縄復帰にかかわる石油製品用許認可船を含まない。 ②年齢不詳船舶を除く。
③20総トン未満の営業船を含む。 ④ここでは油送船に油送船、特殊タンク船の数値の合計を、貨物船にセメント専用船、自動車専用船、土・砂利・石材専用船、その他貨物船の数値の合計を計上している。 ⑤単位未満の端数については四捨五入したため、合計と内計が一致しない場合がある。 ⑥2023年3月31日現在の数値。

7 内航海運事業者数

事業者数は3,290。このうち休止等事業者が291、営業事業者は2,999。

内訳は登録事業者数では運送事業者が620、貸渡事業者が1,179、船舶管理事業者が185の計1,984。届出事業者では、運送事業者が847、貸渡事業者が166、船舶管理事業者が2の計1,015となっている。

出典：国土交通省海事局、日本内航海運組合総連合会



8 登録事業者数

出典：国土交通省海事局

年月日	運送事業者数	貸渡事業者数	船舶管理事業者数	合計	備考
1967年3月31日	9,149	1,792		10,941	1967年4月1日許可制移行
1970年3月31日	1,175	9,129		10,304	1969年10月1日許可制完全実施
1972年3月31日	897	6,057		6,954	1971年8月1日許可対象を100G/T以上に変更
1975年3月31日	901	6,051		6,952	1975年度以降、実事業者数
1980年3月31日	794	5,322		6,116	
1985年3月31日	750	4,868		5,618	
1990年3月31日	725	3,463		4,188	1990年度以降、実事業者数(休止等事業者を除く)
1995年3月31日	712	3,124		3,836	
2000年3月31日	680	2,671		3,351	
2005年3月31日	613	2,206		2,819	2005年4月1日登録制移行
2010年3月31日	701	1,686		2,387	
2015年3月31日	641	1,395		2,036	
2018年3月31日	640	1,290		1,930	
2019年3月31日	623	1,239		1,862	
2020年3月31日	619	1,209		1,828	
2021年3月31日	613	1,178		1,791	
2022年3月31日	613	1,181		1,794	
2023年3月31日	620	1,179	185	1,984	2022年4月1日船舶管理業の登録追加